

看護学科

2023年度 第41期生 後期 入学試験問題
(数学)

泉州看護専門学校

受験番号	
------	--

I.

次の問いに答えよ。

① ある人の血圧を測ると、133mmHg だった。何気圧に相当するか答えよ。

答えは小数第3位まで求めよ。ただし、760mmHg=1気圧とする。

※② mmHg (水銀柱ミリメートル) は圧力の単位。
1気圧=760mmHg=1013hPa (ヘクトパスカル)

※記入しない※

【解答欄】

I.

気圧

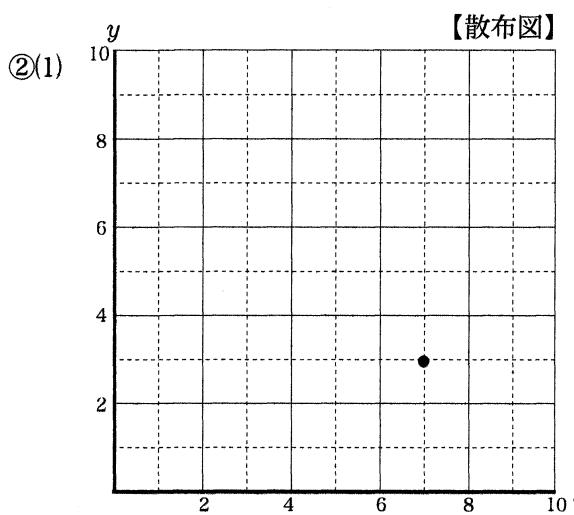
② 次のような変量 x , y のデータがある。

x	7	8	9	4	10	6	5	2	3
y	3	2	3	5	2	6	4	8	6

これについて、

(1) 散布図をかけ。最初のデータ($x=7, y=3$)を例に、●(黒丸)で示すこと。

(2) x , y の間に相関関係があるかどうかを調べ、解答欄の
相関関係がない、正の相関関係がある、負の相関関係があるのいずれかを○で囲め。

③ $\left(-\frac{3}{4}\right) \div \left(-\frac{3}{7}\right) \times \left(-\frac{2}{7}\right)$ を計算せよ。

(2) 相関関係がない	正の相関関係がある	負の相関関係がある
-------------	-----------	-----------

④ $(x+y-3)(x-y-3)$ を展開せよ。

③

④

⑤ $(a+3b+2)(a+3b-12)+40$ を因数分解せよ。

⑤

2.

- ① 方程式 $4x^2 + 6x + 1 = 0$ を解け。

【解答欄】**2.**

$$\textcircled{1} \quad x =$$

$$\textcircled{2} \quad m =$$

- ② 2次方程式 $x^2 - 5x - m + 6 = 0$ がただひとつの実数解をもつとき、定数 m の値を求めよ。

3.

- ① $U = \{n \mid 1 \leq n \leq 10, n \text{ は自然数}\}$ を全体集合とする。

U の部分集合 A, B について、

$$A = \{4, 5, 6, 7\}, B = \{1, 2, 3, 4, 7\} \text{ のとき}$$

(1)～(4)に示す集合を求めよ。なお、 \overline{A} は A の補集合を表す。

$$(1) \overline{A} \quad (2) A \cap B \quad (3) A \cup \overline{B} \quad (4) \overline{A} \cap \overline{B}$$

- ② $\frac{6}{23}$ を小数表示したとき、小数第2位、第3位の数を求めよ。

3.**①**

$$(1) \quad \{ \quad \}$$

$$(2) \quad \{ \quad \}$$

$$(3) \quad \{ \quad \}$$

$$(4) \quad \{ \quad \}$$

②

	第2位	第3位
②		

4.

$-1 \leq x \leq 3$ のとき, $y = -(x^2 - 2x)^2 + 4(x^2 - 2x) + 2$ の最小値と最大値を求めたい。点線枠の空欄ア～セに適する数式を右の【選択群】から選び、記入せよ。なお、同じ数式を何度も使ってよい。また、図⑤、⑧のグラフも完成させよ。

【解き方】

$$y = -(x^2 - 2x)^2 + 4(x^2 - 2x) + 2 \cdots ①$$

$x^2 - 2x = t \cdots ②$ とおくと、①は次のように表せる。

$$y = \boxed{\quad} + 2 \cdots ③$$

$$\text{一方}, t = x^2 - 2x = \left(x - \boxed{\quad} \right)^2 - \boxed{\quad} \cdots ④$$

t を x の関数とみると、 $-1 \leq x \leq 3$ だから、グラフは右図⑤のようになる。

$$\text{このグラフから, } t \text{ の変域は } \boxed{\quad} \leqq t \leqq \boxed{\quad} \cdots ⑥$$

$$\text{③から } y = [\text{ア}] + 2 = -\left(t - \boxed{\quad} \right)^2 + 6 \cdots ⑦$$

⑥の変域における⑦のグラフは、右下図⑧のようになる。

このとき、 y は

$$t = \boxed{\quad} \text{ のとき, 最小値 } \boxed{\quad} \text{ をとる。}$$

$$t = \boxed{\quad} \text{ のとき, 最大値 } \boxed{\quad} \text{ をとる。}$$

したがって $t = [\text{キ}]$ のとき、②から

$$x^2 - 2x = \boxed{\quad}$$

$$\text{これを解くと, } x = \boxed{\quad} \cdots ⑨$$

また $t = [\text{ケ}]$ のとき、②から

$$x^2 - 2x = \boxed{\quad}$$

$$\text{これを解くと, } x = \boxed{\quad} \cdots ⑩$$

⑨、⑩は $-1 \leq x \leq 3$ を満たす。

以上から、

$x = [\text{シ}]$ のとき、最小値 $[\text{ク}]$

$x = [\text{セ}]$ のとき、最大値 $[\text{コ}]$ をとる。

【解答は点線枠ア～セに記入すること】

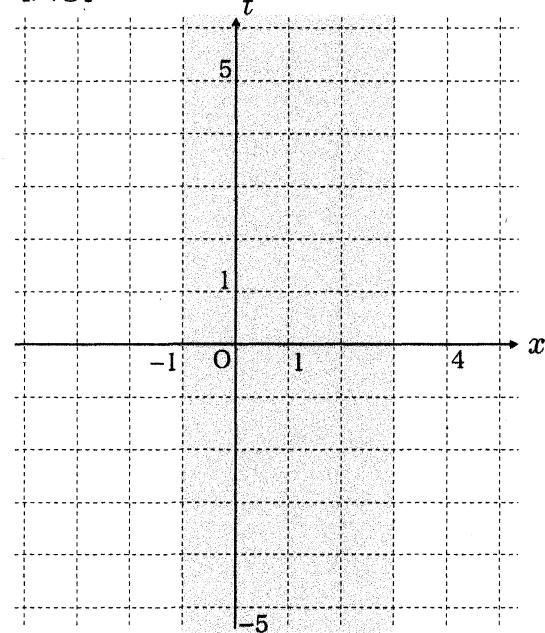
また図⑤、図⑧のグラフも完成させること。

【選択群】

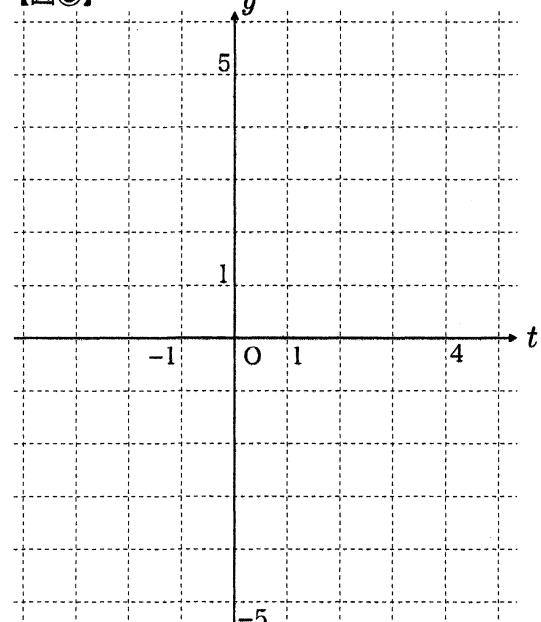
-3, -1, 0, 1, 2, 3, 5, 6,

$1 \pm \sqrt{2}, 1 \pm \sqrt{3}, t^2 - 2t, -t^2 + 4t$

【図⑤】



【図⑧】



5.

$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ とする。次の問い合わせに答えよ。

① $\sin \theta = \frac{5}{13}$ のとき、 $\tan \theta$ の値を求めよ。

② $2 \cos \theta + 1 > 0$ を満たす θ の範囲を求めよ。

【解答欄】

5.

① $\tan \theta =$

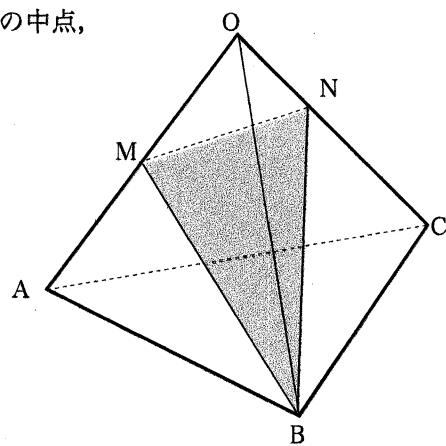
②

6.

右の図は、1辺が6の正四面体で、Mは辺OAの中点、Nは辺OC上の点で、 $ON = 2$ とする。

次の値を求めよ。

(1) 線分BMの長さ



(2) 線分MNの長さ

(3) 線分BNの長さ

(4) $\triangle BMN$ で、 $\angle MNB = \theta$ とするとき、次の値を求めよ。

① $\cos \theta$ の値

② $\triangle BMN$ の面積

6.

(1) $BM =$

(2) $MN =$

(3) $BN =$

(4) ① $\cos \theta =$

② $\triangle BMN =$

2023年度 第41期生後期 入学試験問題
(英 語)

泉州看護専門学校

I 次の時事に関する英単語・語句を訳しなさい。

1. the Constitution Day
2. gender parity
3. labor shortage
4. working population
5. work day

II 次の片仮名英語に合うように、□に適当なアルファベット文字を入れなさい。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ロックダウン | □o□kdown |
| 2. ワクチン | □a□cine |
| 3. ヨット | y□c□t |
| 4. アルコール | a□co□ol |
| 5. エチケット | e□i□quette |

III 次の1～5の語について、A:Bの関係がC:Dの関係と同様になるように、()の中に適当な語を入れなさい。

- | A | : | B | : | C | : | D |
|-----------|---|-------|---|---------|---|-----|
| 1. good | | best | | ill | | () |
| 2. hot | | cool | | present | | () |
| 3. answer | | reply | | choose | | () |
| 4. wood | | would | | dear | | () |
| 5. fate | | fatal | | day | | () |

IV 次の1～5の各組の文がそれぞれ同意となるように、()の中に適当な語を書き入れなさい。

1. { The sun will rise soon.
It will not be () () the sun rises.

2. { They married ten years ago.
() is ten years () they married.

3. { It is natural that Naomi should get angry.
Naomi () () get angry.

4. { I had a photograph taken by him.
I () him () a photograph.

5. { He tried hard, but he failed.
He tried hard () () fail.

V 次のイ～ホの日本語の諺とほぼ等しい英語の諺を下の1～10の中よりそれぞれ二つ選んで番号で答えなさい。

イ. 言わぬが花

ロ. 能ある鷹は爪を隠す

ハ. 楽あれば苦あり

ニ. 急がば廻れ

ホ. 十人十色

1. Every rose has its thorn.
2. Hasten slowly.
3. Deep waters run still.
4. Many men, many minds.
5. Better leave it unsaid.
6. No joy without alloy.
7. The more haste, the less speed.
8. Every man has his own taste.
9. Speech is silver, silence is gold.
10. Cats hide their claws.

VI 次の会話は油絵教室の先生ボブと、生徒のサリーの交わしたものです。会話がうまくつながるように1～7の文を並び変えなさい。

サリー：Oh no! I made another mistake, Bob.

1. Oh, my goodness. I'd say 40 years, at least. Time goes by fast.
2. Can you show me how?
3. "Happy accidents". I like that. You're so wise, Bob. How many years have you been painting?
4. There are no mistakes in oil painting, Sally, just happy accidents.
5. Sure
6. It sure does. So, how can I fix my painting?
7. I would put a little log cabin by the lake there. Easy.

VII 次の英文を読んで以下の間に答えなさい。

An outstanding Japanese animated film has set yet another box office record. The movie "Kimetsu no Yaiba," or "Demon Slayer," has earned 30 billion yen in just 59 days since its release.

The movie is based on a hit manga series about a boy who battles demons in Japan a century ago. The film's distributor says more than 22.5 million people have gone to see it.

That makes it Japan's second-largest box office hit. The only other movie that has earned 30 billion yen in Japan is the 2001 animated fantasy "Spirited Away", which took 253 days to reach the milestone.

The achievement has added to the demon anime's popularity, with children snapping up character goods. Even the prime minister used a phrase from the film in a Diet debate.

The publisher of the original comic book series says the comics have been translated into 14 languages.

- (注)
- | | |
|--------------------------|------------------------------------|
| ・ box office record 興行収入 | ・ "Spirited away" 「千と千尋の神隠し」の英語版題名 |
| ・ distributor 配給会社 | ・ milestone 一里塚、節目 |
| ・ Diet (日本の) 国会 | |

問1. 下線部 (a) について①22.5を英語で書き、②22.5 millionを日本語に訳しなさい。

問2. 下線部 (b) 2001の年号を英語で書きなさい。

問3. 下線部 (A) (B) (C) の文を訳しなさい。

2023年度 第41期生後期 入学試験問題

(国語)

泉州看護専門学校

【一】次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

【高田 郁『ふるさと銀河線 軌道春秋』「ムシャシナ」（一部省略）より】

JR大阪環状線の駅のひとつであるT駅は、私鉄電車と接続するため、乗降客が非常に多い。朝夕の通勤通学の時間帯は^①ムロンのこと、そうではない日中も、実に多様な客がプラットホームに溢れている。

そのホームの大坂寄りに、客が十人も入れば酸欠になりそうな、小さな蕎麦屋があった。「駅そば」などと呼ばれる立ち食い蕎麦の店で、早朝から昼過ぎまでは若い店員が、昼過ぎから夜にかけては六十代半ばの店長が、それぞれアルバイトと二人三脚で切り盛りしていた。

秋元路男^{あきもとみちお}は、もとは町の製麺工場で働いていたが、定年を機にT駅構内の駅蕎麦屋を任されるようになつたのだ。三百円あれば蕎麦なりうどんなりで空腹を満たせる手軽さと、箸を置くや否や電車に駆け込める便利さが受けて、店には終日、客足の絶えることがない。

周辺には常に汁の香りが立ち込め、時折、そこに特有のネギの匂いが混じる。吐く息も凍る冬には、刻みネギをどさり入れたネギ

うどんや、ネギ蕎麦を注文する客が増えるからだつた。

到着した電車から乗客が吐き出され、そのうちの何人かが駅蕎麦の店内へと吸い込まれる。午後九時の閉店まで残り五分、そろそろ最後の客になるだろう。

「きつねうどん、ください」

食券をカウンターの上に置く、その手が随分と小さい。顔を見れば、馴染みの小学生だった。塾帰りらしく重そうな鞄を背負い、他の客の邪魔にならないよう隅の壁にもたれて注文の品の出来るのを待つのも、見慣れた情景だつた。

「きつねうどん、熱いから気いつけてや」

カウンターの端に丼を置くと、路男は小学生に声をかけた。

店の奥の掛け時計はそろそろ九時になろうとしている。小学生と一緒に入店した客たちは次々に丼を放し、帰つてしまつた。

九つか、十。学年でいえば小学校四年生くらいだろうか、少年は時間を気にして、懸命に箸を動かしている。

「まだ大丈夫や、ゆっくり食べべ

これもいつものことで、路男は洗い物をしながら少年に話しかけた。

結局、閉店時間を十分過ぎて、少年は満足そうに箸を置く。

「ごちそーさまでした」

「おおきに、気いつけて帰りや」

^①暖簾をしまいがてら、少年を送つて外へ出る。

ぎつしりと勉強道具が詰め込まれているのだろう、小さな肩に食い込む鞄を背負い、まだ疲れの残る足取りで、少年はホームの雑踏に紛れていつた。

『九時いうたら、子供はもう布団の中で夢の世界と違うんか』

わしがガキやつた時分とはエラい違いや、と路男は胸のうちに呟く。

塾か別勉強か知らないが、まだ小さい子があれほどまでに疲弊する必要があるのか。路男にはそれがわからない。

『まるで、弘晃^{ひろあき}みたいやないか』

弘晃、というのは、路男のただひとりの孫だった。

路男の一人息子の正雄^{まさお}は、大学進学で東京に出て、そのまま就職し、所持を持った。そこに生まれたのが、弘晃だった。

弘晃は小学校に上がるとすぐ、塾に通い始めて、小学校四年生の頃には帰宅時間は夜の十時を回る、と聞いていた。お盆に一家で帰省した時でさえ、正雄ら両親は、弘晃に公開模擬試験を大阪で受験させる徹底ぶりだった。

幼い弘晃が疲弊していく様子に胸を痛めていた路男にとって、その無理強いは許しがたかった。正雄と激しい口論となり、結果、今なお絶縁状態にある。従つて路男の中の弘晃も小学校四年生の姿のままだつた。

やれやれ、と路男は軽く首を振ると、外した暖簾を手に、店に入ろうとした。

「あの……」

後ろから路男に声をかける者がいた。

振り返つてみれば、ひょろりと細い体躯の若い男が立つてゐる。高い上背たいくと、切れ長のきつめの双眸とで大人びて見えるが、頬のあたりに幼さの名残りを留めていた。まだ辛うじて「少年」と呼べる範疇はんちゅうにある。

これくらいの年頃の子がひとりで駄菴麦に入店するのは、なかなかにハードルが高いものらしい。券売機の前で悩み、店内を覗いて悩み、結局は入れないで引き返してしまったケースは、わりによく見受けられた。

勇気を振り絞り、入店する気になつたのか、と少しばかり氣の毒に思いながらも、路男は抑揚のない声で告げる。

「すんません、もう閉店なんで」

路男の台詞に、彼は軽く目を見張つた。その目尻に小さな黒子①がふたつ、横に並んでいる。路男はそれに目を留めて、おや、と首を捻つた。

何処かで見たような……。

そう思つた瞬間、塾の鞄を背負つた小さな孫の面影が浮かんだ。絹糸を思わせる細い髪、少し上を向いた愛敬のある鼻、子供らしい円らな瞳。幼い日の愛らしい孫の姿を目の前の少年に重ね合わせることは難しいはずが、ふたつ並んだ黒子が両者をぴたりと一致させた。まさかそんな、と思いつつも、路男は声を上げずにはいられない。

「弘晃、お前、弘晃なんか？」

路男にそう呼びかけられて初めて、少年は安堵の表情を見せた。

「ジイちゃん」

耳に馴染んだ呼び名を、聞き慣れない声で呼ばれる不思議。五年ぶりに再会した孫の弘晃に間違いなかつた。

日付が変わつて間もなく、路男は深い眠りを何かに遮られた。

ううう、ううう、と地鳴りの如く響く音に、何事か、と飛び起きる。

「ううう、うううん」

音の正体が隣りで眠る孫の呻き声と知つて、闇の中、手探りで電気スタンドを捲す。丸い橙色だいだいの明かりが孫の方に直接当たらぬようになづらしてから、その様子を眺めた。

寒いだろうに、弘晃は掛け布団を投げ出し、背中を丸め、手足をぎゅっと縮めて眠つている。

『可哀相に。えらいうなされて』

路男は孫に布団を掛け直して、しげしげとその顔を覗いた。

中学三年生とはまた、随分と大きくなつたものだ。目尻にふたつ並んだ黒子があるとはいえ、町なかで擦れ違つたとしたら、これが弘晃だと氣付くことはなかつただろう。

だが、成長の喜びとは別に、この様子は何としたものか。

血の氣の失せた顔、深く刻まれた②ミケンの皺、おまけに目の下には疲労がくまを作つていた。眠つていてさえ、固く噛んだ下唇が痛々しい。

「うう、ううう」

噛み締めた唇から、なおも呻き声が洩れる。

路男は遣り切れなさに、小さく首を振つた。

『どうや、この怯え方。子供の寝顔と違うがな』

年に一度しか会えなかつたが、赤ん坊だった頃から十歳になるまでの可愛い盛りを知つてゐる身。五年の空白を経て、これほどまでに怯え、疲弊した姿を目の当たりにするとは思わなかつた。

どうしたもんやろかなあ。

路男は箪笥の上に視線を向けた。そこに置かれた亡妻恵子けいこの遺影と目が合う。

——お父さん、何とか助けたつてえな

そんな恵子の声が聞こえてきそうだつた。

火の氣のないアパートの一室に戻ると、路男はそのまま台所に立つた。

「虫養い、いう言葉が大阪にはあるんや」

出来上がつた二人分の蕎麦を電気コタツの上に並べて、路男は弘晃に語りかける。

冷えた室内に、井からはほかほかと柔らかな湯気が立っていた。

(イ)「ムシヤシナイ?」

どんな文字をあてるのか、皆目見当もつかないのだろう、外来語にしか聞こえない口調で、弘晃は繰り返すと、熱い井に手を伸ばした。ああ、と祖父は頷き、孫のために瓢箪型^{ひょうたんがた}の七味入れを取つてやる。

「軽うに何ぞ食べて、腹の虫を宥めとく、いう意味や」

「ふーん」

興味の湧かない声で応えて、弘晃は熱々の蕎麦を口に運ぶ。一口すすつて気に入ったのか、ズズズッと美味しそうに食べ進めた。

目を細めてその様子を眺めていた路男だが、ゆっくりとした仕草で急須を取り上げ、茶葉にポットの熱湯を注ぐ。

「今日みたいに寒い日いは、湯気がご馳走や」

湯気の立つ湯飲みを孫の手もとに置いて、祖父はさらに続けた。

「帰ればご飯が待つてゐる。時間さえあれば、ゆっくり食事が出来る。懐に余裕があつたら、派手な駆走も食べられる。でも今は、そういうわけにいかん。せやから、取り敢えず駅蕎麦で虫養いして、力を補う——そういう虫養いを、ジイちゃんは大事に思うんや」

話の途中から、弘晃は箸を止めて、じつと祖父の双眸を見つめていた。聞き終えて、何か言いたげに弘晃は唇を開きかけ、しかし、またきゅつと一文字に結び直した。

トウルル
トウルル

秋元家の電話が鳴つたのは、丁度その時だつた。咄嗟に弘晃がぎくりと身を固くする。⁽³⁾ カンユウ か間違いか、あるいは悪戯でしか鳴ることのない電話だつたが、その受話器に、路男が躊躇いなく手をかけた。

「はい、秋元です」

名乗つたあと、受話器の向こうの声を聴いて、路男は唇を僅かに歪めた。思った通り、電話の主は東京の正雄だつたのだ。弘晃が家を出て二日、正雄は漸く、息子の立ち寄り先として大阪の路男のことを思い出したのだろう。

無沙汰を詫びるでもなく、老父の暮らしぶりを尋ねるでもなく、单刀直入に弘晃の消息を問う正雄に、路男は苦い表情のまま答える。「ああ、弘晃なら來てるで。暫くうちに預かるさかい。……えつ? 何やて?」

視野の隅に、固睡^{かたず}を呑んで様子を窺う弘晃が映つてゐる。路男は身体ごと電話に向き直り、声を低めた。

「勉強が遅れる』で……お前、それ本氣で言うてんのか」

恵子が生きていれば、上手にとりなしたかも知れない。だが、路男は良い齢をした息子のあまりの愚かさに、このド阿呆! と受話器に向かつて罵声を浴びせていた。

「おんどれは父親のクセしてから、子供を潰す氣か。いつへん目え覚まんかい!」

がしゃん、と怒りに任せて受話器を叩きつけたものの、煮えたぎつた憤怒はそう簡単には路男から去らなかつた。

音のない一室に、古い掛け時計の秒針だけが妙に大きく響いてゐる。

振り返り、孫の様子はと見れば、弘晃は卓上に置いた握り拳をわなわなど震わせていた。必死で感情の爆発に耐えているその姿を目にして、路男は黙り込んだ。

どれほどそうしていただろうか、弘晃が、オレ、と掠れた声を絞り出した。

「オレ、親父を殺すかも知れない」

部屋の空気が一瞬、薄くなつた。

弘晃が苦悩の果てにその台詞を口にしたことが容易に察せられて、路男は敢えて無言のまま、真剣な眼差しを孫へと向けた。

弘晃は右の拳で唇を覆い、くぐもつた搖れる声で打ち明ける。

「目の前に包丁があると、親父を刺しそうな気がして息が出来ない。いつか自分で自分をコントロール出来なくなる。そしたら……」

弘晃の肩が、上腕が、小刻みに震えだした。双眸に激しい怯えが宿り、うつすらと涙が膜を張つてゐる。

「そしたら、オレ……親父を……」

「弘晃」

見かねて路男は孫の名を呼び、その背中に手を置いた。

刹那、下瞼^{したまぶた}で辛うじて止まつていた涙が、色の失せた頬へと滑り落ちる。

「ジイちゃん、オレ……自分が恐い」

恐くて堪らない、と言葉にすると、弘晃は両の掌を開いて顔を覆つた。

怯えの根源を口にしたことで、弘晃を支えていた何かが崩れたのだろう。十五歳の少年は、電気コタツの天板に突つ伏して懣哭した。

ほんの数時間前にかけた鍵を外し、明かりをつけると、路男は弘晃を厨房に招き入れた。

落ち着かない様子で店内を見回す孫には構わず、ネギの根を落とし、流しで洗つて俎板に束ねて置き、包丁を添えた。

「さて、と。弘晃、こつちおいで」

声をかけられて、祖父の方へ向き直った弘晃だが、俎板に置かれた包丁を認めると、ぎょっとして両の肩を引いた。

「ジイちゃん、オレ、包丁は……」

両腕を後ろに回して身を強張らせる弘晃に、路男は緩やかに頷いてみせる。

「大丈夫、ジイちゃんが手え添えたるよって」

祖父に言われて、孫は俎板の前に立つと、恐る恐る包丁の柄を握った。ほお朴の木を用いた白い柄を、しかし、弘晃の掌に包むだけで精一杯の様子だった。

「もつとしつかり握らなあかん、かえって危ないで」

こうするんや、と路男は孫の手に自分の手を添え、がちがちに固まつた指を解して、正しく持たせた。

「せや、『小峯にぎり』いうてな、この持ち方を覚えたら、これから先、色々と役に立つ」

そうして、ネギに刃をあてがうと、

「よっしゃ、ほんならネギ切つてみよか」

と命じ、手を添えたまま刻み始めた。

切りたくない、との思いが弘晃の腕を重くする。④ ナンギしながらも、路男は弘晃を導き、さくさくとネギに刃を入れていく。

「口に障らん厚み……これくらいの小口切りにな。ほな、自分で切つてみ」

見本を示すと、祖父は孫の右手を解放した。

必死の形相で、弘晃は包丁を握り締めて、ネギを刻む。(口) ざく、ざく、ときこちない包丁遣いは、しかし、暫くすると、ざく、ざく、と徐々に柔らかな音へと変化していった。それにつれて、弘晃の身体の強張りは取れ、表情も少しずつ穏やかになっていく。

「いくつもの塾をかけ持ちして、実力以上の中学に受かった。けど、入つてみたら秀才がゴロゴロ。授業についていくのがやつとだつた」

路男はただ無言で、孫の打ち明け話に耳を傾ける。

「親父には努力が足りない、と殴られてばかり。でも、足りないのは努力じゃなくて、能力だったんだ。三年通つてそれが身に沁みた」

自身に言い聞かせるような口調だった。

たかだか十五歳で、自身の人生を諦めた様子の弘晃の姿が、路男には胸に応える。それに耐えて、祖父は孫の包丁遣いを見守つた。(ハ) さくつかくつ、という包丁の音は、何時しか、とんとんとん、と軽やか音色へと育つっていた。俎板の上で包丁がリズミカルに踊り、正確な厚みでネギが刻まれていく。用意したネギの束もそろそろ尽きようとしていた。

「仰山できたなあ、おおきにな、弘晃」

業務用の笊に山盛りになつた刻みネギを示して、路男は弘晃に笑みを向けた。

「上手いこと使えるようになつたな。——もう大丈夫や」

孫に手を差し伸べ、弘晃の右手を包丁ごと、自身の両の掌で包み込む。包丁の刃先が路男の腹を向いているのを知り、弘晃は怯えた目で祖父を見た。

「弘晃、お前はもう大丈夫やで」

逃れようとする孫の手をしつかりと握つたまま、路男はぎゅつと目を細めてこう続けた。

「包丁は、ひと刺すもんと違う。ネギ切るもんや。この手えが、弘晃の手えが覚えよつた」

「あ……」

弘晃の瞳に涙が浮き、瞬く間に溢れだす。堪えようとして堪えきれず、戦慄く唇から嗚咽が洶れ始めた。

心配要らん。

弘晃、もう何も心配要らん。

⑤ ゴウキユウ

する孫の背中を撫でながら、祖父は幾度もそう胸のうちで繰り返した。

翌日の昼過ぎ、乗降客の行き交うホームに、弘晃と路男の姿があつた。

駅舎麦屋の制服に前掛けを締めた路男の姿はひと目を引きそつたが、案外、気に留める者は居ない。

乗車を促す笛の音が響いて、弘晃は祖父を振り返った。

「親父とちゃんと話すよ。色々、ほんと色々、ありがと、ジイちゃん」

来た時とは別人のような、晴れやかな笑顔だった。路男は大きく頷いてみせた。

「気いつけてな、弘晃」

「また来るから」

弘晃が電車に乗り込んだ瞬間、プシューッと間延びした音がして、扉が両側から閉じられようとした。

扉が閉まる直前、弘晃が早口で言つた。

(三)「ムシャシナイさせてもらいに、オレ、何度でも来る」

孫を乗せた電車がホームに出て、その姿が消えてしまふまで見送ると、路男はぼそりと呟いた。

「ムシャシナイ……何やあいつが言うと、外国語に聞こえるがな」

声に出してみれば、胸に宿っていた寂しさが消えて、路男はからからと笑い声を上げる。

次の電車の入線を告げるアナウンスが、師走のホームに響いていた。

【設問】

問一 ①～⑤のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線⑦～⑩の漢字をひらがなで記しなさい。

問三 蕎麦屋に来る客以外の登場人物の関係を書きなさい。

問四 二重傍線(イ)「ムシャシナイ」とカタカナ表記されているのは、どうしてですか。

問五 二重傍線(ロ)「ざく、ざく、とぎこちない包丁遣いは、しかし、暫くすると、ざく、ざく、と徐々に柔らかな音へと変化していった」二重傍線(ハ)「さくづさくづ、という包丁の音は、何時しか、とんとんとん、と軽やかな音色へと育つていった」という表現から、弘晃のどのような心の変化が読み取れますか。

問六 二重傍線(ニ)「胸に宿っていた寂しさが消えて、路男はからからと笑い声を上げる」という言葉から、路男のどんな心情が読み取れますか。

二 次の文章を読んで以下に問い合わせに答えなさい。

(椎名美智『させていただく』の使い方より)

SMAPとV6の解散劇

今、「させていただく」は本当によく使われています。記者会見では、^①フショウジを起こした政治家が「反省させていただきます」「謝罪させていただきます」と言い、芸能人が「〇〇さんと入籍させていただきました」「このたび結婚する運びとなりました事をご報告させていただきます」と言っています。「させていただく」なしには記者会見はできないんじゃないかとさえ思つてしまふ今日この頃です。

SMAPが二〇一六年に解散を発表した時、「解散させていただくことになりました」というファックスがマスコミ関係者に送られたと話題になりました。 A ファンへの配慮もあるのでしょうか、当時の週刊誌やワイドショーでは、所属事務所との交渉やメンバー内での合意形式が難しかったことが取り沙汰されていました。かしこまったく言葉遣いを見て、「色々大変だったのね。解散する時まで、こんなにみんなに気を遣わなくちゃいけないなんて、気の毒だな」と、遠巻きに思つたことを覚えてています。

そして今度、V6が解散することになりました。彼らのホームページには、「とても大事な」となので、自分たちの言葉で皆さんに伝えます。僕たちは、2021年11月1日をもちまして、解散します」とあります。

「僕たち、解散します」よくぞ言つてくれました。この言葉の向こうには、^①潔い態度が透けて見えます。「よく決心したね。これからもがんばってね」と応援したくなりました。

解散というのは、かなりの決意と^②カクコが必要な行動です。自分たちの今後の生き方を大きく左右する重大な出来事です。現実社会では、関係者の方々にたくさん頭を下げて回ったことでしょう。「それでも、僕たちは自分たちの意志で解散するつて決めたんだ」という未来へと向かう心意気が感じられ、爽やかな一陣の風が吹いた心地がしました。

二つのジャニーズグループの解散劇を比べて、「させていただく」がコミュニケーションに様々なニュアンスを加えていることがわかつていただけたのではないかと思います。

「させていただく」の謎

「させていただく」が爆発的に使用されているという事実に異を^③トナえる人はいないでしょう。「させていただく」なしに日常生活を送るのは難しいのではないかと思えるくらい、^④Bほとんど氾濫^⑤していると言えるほどです。この本は、そのような「させていただく」の使用実態を言語学的に、語用論的に解明しようとした本です。

なぜこんなに氾濫しているのでしょうか?...ここ数年、アンケート調査や過去や現在のデータを分析して「させていただく」を研究していますが、まだまだ謎だらけです。調べても調べても、わからないことが次から次へと出てきます。「させていただく」は、今まさにブレイクの真っ最中で変化しているところなので、謎を一つ解明しても、答えがわかった頃には状況はもっと先に進んでいて、なかなか実態が^⑥掴めないのです。

「させていただく」のそうした流動的な変化の様子が興味をそそるのか、^⑦多くの言語学者が「させていただく」について論じています。私もその一人です。

「させていただく」を話題にすると、「使いすぎだよね」「違和感あるよね」などと、どちらかというと否定的なコメントをする人が多いような気がします。ところが、「使いやすく便利だよね」「丁寧でいいよね」といった肯定的な評価はあまり聞いたことがありません。なぜなのでしょう?...こんなに使われているのに、とても不思議です。

言語学には様々なアプローチがあります。私が専門としているのは、文法規則の研究ではなく、コミュニケーション論・語用論・文体論で、実際のコミュニケーションで使われた言葉のダイナミックな流れを分析しています。^⑧C、どんな言葉の使い方に対してもできるだけ中立的な態度で言語現象に接することを心がけています。

^⑨D、先日ZoOmで友達と話していたら「あつ、また使つてしまつた」とか、「今の使い方、間違つてるよね」などと、「させていただく」を使うたびに、友人は自分でツッコミを入れるんです。「私、使うなつて一言も言つてないんだけど……」と言つても、「わかるてる。でも、気になる」とのこと。みんなが前から薄々気になつていたことを、たまたま私が取り上げたために、ますます気になつてきたのかもしれません。

「させていただく」を論じていると、すぐに「『させていただく』警察だ」と思われるてしまうのですが、それは大きな誤解です。

^⑩E、これを機会に「語用論」という研究領域を知つてもらつて、そうではないことを証明したいと思つています。

敬語のインフレ現象

「させていただく」は一八七一年の三遊亭圓長^{さんゆうていいんちょう}の落語^{きくもようざらやまきだん}『菊模様皿山奇談』に用例があるので、約一五〇年前に使われ始めたようですが、使用増加はそれから一二〇年後の一九九〇年代です。現在、使用が爆発的に増加していることは、私たちみんなが日常生活で感じていることです。人が使っているのは、多くの人が「正しい」と考えるかどうかではなく、人々が「普通の敬語だと敬意が足りない気がする、さて、どうしよう?」とあえぎながら、これでもかこれでもかと「させていただく」を連発している敬語のインフレ現象です。私には、「させていただく」は、本来の敬語が負いかねない敬意を、「あげる」「もらう」を意味する動詞が代わりに負つてているような状況で、^⑪由緒正^⑫しい敬語の枠外にある別のタイプの敬語のように思えるのです。

「させていただく」という言い方は、これだけ広く使われているのですから、その言い方を分解して^⑬ショウサイに分析することは、言語学の一つの重要な課題だと思います。しかし、この本の特徴は、それだけで終わっていないことです。さらにもう一歩進めて、この表現が人々に使われるようになった背景にある要因を探つているのがポイントです。

この背景的要因が、じつはたくさんあるわけです。社会の変化、人々の意識や距離感の変化、そして日本語の敬語の変化、そういうた様々な流れの集まつた^⑭ケツセツテンに、「させていただく」現象が立ち現れないと考えました。つまり「させていただく」を「問題

系」として取り上げたのです。問題系とは、一つの問題ではなく、様々な問題が絡まっているという意味です。これについては、第二章でまた説明します。

【設問】

問一 ①～⑤のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線(ア)～(オ)の漢字をひらがなで記しなさい。

問三 A～Eの□に当てはまる言葉を左記から選び、その番号を書きなさい。

- ①それどころか ②せつかくですから ③それなのに ④もちろん ⑤ですから

問四 二重傍線(イ)「爽やかな一陣の風が吹いた心地がしました」とあります、それはどうしてでしょうか。

問五 二重傍線(ロ)「多くの言語学者が『させていただく』について論じています」とありますが、それはどうしてでしょうか。

問六 二重傍線(ハ)「敬語のインフレ現象」とは、どういう状態を指していると筆者は考えているのでしょうか。

三 次の問いに答えなさい。

【設問】

問一 次の熟語の対義語を漢字で書きなさい。

- ①自立 ②加入 ③潜在 ④着任 ⑤解放

問一 □の中に漢数字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- ①□載□遇 ②□位□体 ③□束□文 ④唯□無□
⑤再□再□ ⑥□発□中 ⑦□中□九 ⑧海□山□
⑨□差□別 ⑩□日□秋